

社会福祉法人 京都市伏見区社会福祉協議会

令和元（平成 31）年度 事業報告

令和元（平成 31）年度 事業報告

I. 総括

人口減少社会を迎えるなかで、ライフスタイルの多様化や住民同士の絆の希薄化が進み、地域での社会的孤立、社会的排除、貧困等の問題が深刻化しています。また、前触れもなく発生する様々な災害は、穏やかに暮らす人々の生活を一瞬にして奪い取ってしまいます。このような状況にともなって、福祉に関するニーズも年々、多様化・複雑化しています。

平成 30 年 4 月に施行された改正社会福祉法では、「住民に身近な圏域」において生活に様々な課題を抱えながらも住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくために、地域の住民がお互いに支えあいながら地域をともにつくる「地域共生社会」の実現をめざして、「我が事・丸ごと」の地域福祉推進の理念が掲げられました。

しかしながら、社会的な孤立や貧困などを背景に、公的な制度に基づくサービスや支援だけでは対応できない深刻な生活課題を抱えたままで、いまだに、苦しみに向き合っただけで孤独に暮らしておられる人々がおられるのも見過ごすことのできない実情です。

令和元年度は、京都市社会福祉協議会においては、市・区・学区社協のこれまでの積み重ねた実績と、社協を取り巻く状況を踏まえつつ、あらためて「住民主体の地域福祉活動」の意義を確かなものとするため、京都市における社協行動指針（改訂版）をもとに京都市の社協あり方構想等の実践を重ねながら、京都市とのパートナーシップを活かし、京都市の地域福祉の向上をはかるため「京（みやこ）・地域福祉推進指針」の推進に力を注ぎました。

伏見区社会福祉協議会においても、「第 3 期 伏見区地域福祉活動計画」を総括するなかで、各学区の重点プランも含め検証を図るとともに、成果と新たな課題の整理を行い、京都市社会福祉協議会とも一体となりながら、京（みやこ）・地域福祉推進指針に基づいた「第 4 期 伏見区地域福祉活動計画」の策定をすすめてまいりました。

あわせて、伏見区役所、深草支所、醍醐支所をはじめ、関係機関、団体、施設等と、これまで以上に、多様な連携・協働を進めながら、地域福祉を取り巻く諸課題を解決していくため、迅速且つ着実にそして丁寧に、様々な取り組みを積み重ねています。

今後も、各学区のご理解もいただきながら「地域の絆づくり事業」や「支え合い活動」を推進していくなかで、高齢者はもとより子どもや障がいのある方々への理解をより一層深め、伏見区内の生活支援サービスの充実に寄与していく方策を組み立て、共生のまちづくりの実現に向けた取り組みを促進し、求められる役割を積極的に果たせるように努めてまいりたいと考えております。

II. 重点事業

1. 住民主体の地域福祉活動の強化

「健康すこやか学級」の到達点と課題を踏まえ、広報活動の充実や新規利用者の受け入れ、明瞭な事業運営を行い、実践事例やノウハウの蓄積を学区社協の皆様と共有させていただく機会をつくりました。

また、「地域の絆づくり事業」（相談・居場所・見守り）や「支え合い活動」により一層力を注ぐことにより、高齢者、子ども、障がい者の枠にとらわれない共生社会実現を目指し、学区社協の組織と活動の拡充に努めました。

2. 支え合い活動、寄り添い支援の更なる推進と充実

「地域支え合い活動創出コーディネーター」と連携し「京都市地域支え合い活動創出事業」に取り組むとともに、新たな支援システムの具体化を検討し、学区社協や地域活動と協力した支え合い活動の推進に取り組みました。

「地域あんしん支援員」と連携し、行政や関係機関、地域との連携のもと、対象者に継続して寄り添い支援の充実を図ることに努めました。

支え合い活動、寄り添い支援により、地域や対象者の力を引き出すことで、施策・サービスの利用や地域でのつながりづくりを促し、安心して日常生活を営むための地域福祉の向上を図ることに努めました。

3. 福祉施設等との連携による「地域における公益的な取り組み」の推進

社協の総合力とネットワークを活かし、伏見区地域福祉推進委員会の場を活用した地域協議会において、社会福祉法人による「地域における公益的な取り組み」の積極的な推進に取り組みました。

4. 第3期地域福祉活動計画の総括及び第4期計画策定

第3期伏見区地域福祉活動計画における区、学区の実践ならびに成果を振り返り課題も探りながら、新たな福祉的課題も見据え、京（みやこ）・地域福祉推進指針の理念に寄り添い、学区社協をはじめ、行政、関係機関との綿密な協議を重ね第4期活動計画を策定してまいりました。

5. 区災害ボランティアセンターの機能強化

市災害ボランティアセンターとも連携し、平時から学区社協等との連携の在り方、要配慮者への対応策等を協議しつつ、伏見区総合防災訓練等の場で活かしながら、有事の際に役立つ仕組みづくりを模索してまいりました。

Ⅲ. 事業概要

1. 区社協会務運営事業

1) 会務運営事業

〔 成 果 〕

会務運営が適切に行われるよう、役員会などを適宜開催し、活動方針や活動内容について協議を行うことが出来ました。

〔 課 題 〕

令和2年に入り、世界的な流行を見せている新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地域社会は様々な困難に向き合うことになりました。そういった中、社会福祉協議会に求められる役割がますます拡大しており、組織の特性や機能を十分に発揮できるよう、正副会長会議を中心に、理事会や評議員会、委員会等の諸会議においてしっかりと課題を共有し、役職員が一体となって取り組むことが重要です。

(1) 正副会長会議の開催

開催日	内 容
令和元年5月15日	(1) 平成30年度 事業報告並びに一般会計決算の承認について (2) 第1回 理事会の議案について (3) 第1回 評議員会の議案について
令和元年10月21日	(1) 第68回 伏見区社会福祉大会について (2) 令和元年度 区社協会長表彰審査について

(2) 理事会の開催

開催日	内 容
令和元年5月28日	(1) 顧問及び参事の委嘱について (2) 理事候補の選任について (3) 監事候補の選任について (4) 評議員候補の補充選任について (5) 評議員選任・解任委員の選任について (6) 平成30年度 事業報告ならびに一般会計収支決算の承認について (7) 評議員会の開催について
令和元年6月21日	(1) 会長ならびに副会長の選任について (2) 顧問ならびに参事の委嘱について
令和2年3月30日 【書面審議】	(1) 令和元年度 一般会計（第1次）補正予算の承認について (2) 理事候補の補充選任について (3) 評議員候補の補充選任について (4) 令和2年度 事業計画並びに予算の承認について

	(5) 第4期 伏見区地域福祉活動計画について (6) 令和元年度 京都市社会福祉法人等指導監査の報告について (7) 会長の職務執行状況の報告について
--	--

(3) 評議員会の開催

開催日	内 容
令和元年6月21日	(1) 理事の選任について (2) 監事の選任について (3) 平成30年度 事業報告ならびに一般会計収支決算の承認について
令和2年3月30日 【書面審議】	(1) 令和元年度 一般会計（第1次）補正予算の承認について (2) 理事の補充選任について (3) 令和2年度 事業計画並びに予算の承認について (4) 第4期 伏見区地域福祉活動計画について (5) 会長の職務執行状況の報告について

(4) 監事会の開催

開催日	内 容
会計監査 令和元年5月10日	(1) 平成30年度 一般会計決算の監査について
本監査 令和元年5月13日	(1) 平成30年度 事業ならびに一般会計決算の監査について
中間会計監査 令和2年1月30日	(1) 令和元年度 一般会計の中間監査について

(5) 京都市社会福祉法人等指導監査の実施

開催日	場 所
令和2年2月4日	京都市伏見区社会福祉協議会 事務所

(6) 委員会の開催

①生活福祉資金調査委員会

開催日	内 容
開催なし	-

(7) 役員研修の実施

①地域福祉推進セミナー（市・区社協役員研修）の共催

開催日	内 容
令和元年8月30日	テーマ：一人ひとりが地域のなかで尊重される福祉のまちづくり 「気づき・つなぎ・支える」力の向上を目指して 基調報告 講 師 藤松 素子 氏（佛教大学 教授） シンポジウム コーディネーター 藤松 素子 氏（佛教大学 教授） 実践報告「生きづらさや困りごとを抱える人との関わりを通して」 滋野学区民生児童委員協議会 会長 辻井 美智子 氏 上京区社会福祉協議会 あんしん支援員 櫻井 孝洋 氏 上京区役所健康長寿推進課 担当課長 前田 えり子 氏 会 場 ロームシアター京都 サウスホール 参加者 伏見区関係者55名

(8) 賛助会員募集活動

- ①募集期間 平成31年4月 ～ 令和2年3月末
②実績額 15,878,160円

2) 企画広報事業

〔 成 果 〕

第68回伏見社会福祉大会を開催し、福祉活動の功績顕著な方々を表彰するとともに、社会福祉協議会活動への理解の促進を図るため、京都市社会福祉協議会との共同広報紙を発行いたしました。

また、「福祉のまち伏見」の実現に向けて、区民の皆様や福祉関係者との連携と協働のもと、取り組みの内容を発信することができました。

〔 課 題 〕

令和元年度は、「第3期 伏見区地域福祉活動計画」の総括ならびに、「京（みやこ）・地域福祉推進指針」に基づいた「第4期 伏見区地域福祉活動計画」の策定に取り組んでまいりましたが、新たな活動計画に関して積極的な情報発信を行うことにより、区民の皆様や福祉に携わる関係者等と共に取り組む計画として推進していくことが必要です。

(1) 第68回 伏見区社会福祉大会の開催

開催日	内 容
令和元年11月22日	第Ⅰ部 式典及び表彰状贈呈式 (1) 表彰状贈呈式 ① 社会福祉協議会優良活動表彰 ② 社会福祉事業功労者表彰 ③ ボランティア・市民活動表彰 ④ 社会福祉活動協力者（感謝状） (2) 大会宣言 第Ⅱ部 記念講演会 テーマ 「夢に向かって～車いすバスケットボールと私～」 講 師 阪根 泰子 氏 アテネパラリンピック車いすバスケットボール元日本代表 第Ⅲ部 交流懇親会

会 場 リーガロイヤルホテル京都2階「朱雀の間」「春秋の間」

参加者 式典 181名 講演 179名 交流懇親会 139名

(2) 伏見区社協会長表彰審査会の開催

開催日	内 容
令和元年10月21日	(1) 第 68 回 伏見区社会福祉大会について (2) 令和元年度 区社協会長表彰審査について

(3) 区社協会長表彰並びに感謝状の贈呈

地域福祉協議会優良活動表彰（学区社協役員等）	20名
〃（民生委員・児童委員）	54名
〃（老人福祉員）	5名
〃（社会福祉施設役職員）	18名
ボランティア・市民活動表彰（個人）	39名
社会福祉活動協力者感謝状（個人）	2名
〃（グループ）	21団体

(4) 市社協会長表彰等への推薦

社会福祉事業特別功労者表彰（社協役員）	3名
〃（民生委員・児童委員）	1名
〃（老人福祉員）	4名
〃（社会福祉施設役職員）	3名

〃	(社会福祉団体役職員)	1名
優良民生児童委員協議会		1団体
社会福祉事業奉仕活動表彰	(ボランティア)	なし
社会福祉活動協助者	(グループ)	4団体

(5) 広報紙「伏見区社協だより」の発行

発行月	内 容
平成31年4月	内 容 賛助会員募集特別号「賛助会員への加入のお願い」 部 数 約70,000部

(6) 共同広報紙「京都市の社会福祉協議会」の発行

発行月	内 容
令和元年9月	内 容 誰もが安心して暮らし、つながりのある地域づくりを進めます 掲載学区：藤森学区社協 住吉学区社協 醍醐学区社協 部 数 約70,000部

(7) インターネット・ホームページ

本会が行う活動について紹介し、福祉に関する情報を発信した。

3) 基金運営事業

〔 成 果 〕

なし。

〔 課 題 〕

混迷する社会情勢の中、今後も基金果実が増加する見通しは立たない為、基金原資の活用について委員会において検討を行う必要があります。

(1) 基金の造成

- ①老人福祉基金 22,560,000円
- ②児童福祉基金 15,785,306円

(2) 基金果実の還元

- ①老人福祉基金 未実施
- ②児童福祉基金 未実施

2. セーフティネット事業

1) 日常生活自立支援事業

〔 成 果 〕

年度末の統計では契約者数 107 名、職員代行ケース数 8 名(7.4%)となりました。

認知症や障害の症状が進行し、当事業の契約継続が困難になったケースについては、生活福祉課や京都市長寿すこやかセンター、その他の関係機関等とも協議し、スムーズに成年後見制度への移行ができるよう連携し対応しました。

また、事業について広く理解を進めるために、事業周知に力を入れ、関係機関と連携し事業説明を行いました。

〔 課 題 〕

引き続き生活支援員不足が課題となっていることから、その確保に努めるとともに、多くの利用希望に応えられるよう、待機期間の短縮化と、契約者数の増加に努めます。

また、関係機関とのネットワークの構築にも尽力し、より充実したチーム支援を展開していきたいと考えています。

(1) 福祉サービスの利用援助と日常的金銭管理サービス等の実施

①新規契約数および解約数

	認知症	知的障害	精神障害	その他	合計
新規契約数	10	4	4	0	18
解約数	15	0	3	1	19

②契約状況

		相 談 区 分				合 計
		認知症	知的障害	精神障害	その他	
伏見本所・深草	年度当初	32	20	20	6	78
	年度末	31	23	20	6	80
醍 醐	年度当初	18	6	2	4	30
	年度末	14	7	3	3	27
合 計	年度当初	50	26	22	10	108
	年度末	45	30	23	9	107

※その他：認知症の診断や障害者手帳はないものの、判断力に不安がある方

(2) 生活支援員の確保・養成

①登録・活動状況

		伏見本所・ 深草	醍醐	合計
登録者数	年度当初	61	22	83
	年度末	68	23	91
活動者数	年度当初	33	14	47
	年度末	38	14	52

(3) 日常生活自立支援事業の制度説明

開催日	内 容
令和元年8月6日(火) (深草総合庁舎 4階 第2会議室)	(1) 派遣講師として事業説明 (2) 内容：「家族ができること～地域資源を知ろう (日常生活自立支援事業・成年後見制度について) ～」講師：日常生活自立支援事業について 京都市伏見区社会福祉協議会 大槻真也 成年後見制度について 京都市成年後見支援センター 中村亮太 (3) 対象：伏見区管内にお住いの精神障害者のご家族
令和元年11月7日(木) (伏見区役所 2階講 堂)	(1) 派遣講師として事業説明 (2) 内容：「2019年度 第3回指定特定相談支援事業等への研修 ～よし！伏見区社協にきいてみよう！③～」 講師：日常生活自立支援事業・生活福祉資金制度について 京都市伏見区社会福祉協議会 大槻真也 成年後見制度について 京都市成年後見支援センター 中村亮太 (3) 対象：京都市南部圏域の指定特定相談支援事業 支援専門員 (4) 質疑応答

2) 生活福祉資金貸付事業

〔 成 果 〕

依然として教育支援資金の相談や申請件数の占める割合が高く、全体の約7割を超えています。子どもや若者の生活困窮が注目され、他の奨学金制度が刻々と変化をする中で、教育支援資金の運用にも変更が重ねられ、相談員は常に従来とは異なる柔軟な対応を求められています。教育支援資金は進学を支えるセーフティネットの役割として、非常に有効な制度の一つとなっています。

一般福祉費として、生活保護世帯への生活必需品(エアコン・冷蔵庫・洗濯機等)購入費用の申請件数も増加をしており、生活福祉課とも連携し対応しています。

総合支援資金の申請件数は微増ですが、緊急小口資金の申請は一定して有り、必要に応じて生活困窮者自立支援法における自立支援相談員にも関わりを依頼し、連携をしながら対応しています。

償還については引き続き初期滞納者への対応に力を入れ、滞納が始まったケースへ架電を行うなど、重点的にアプローチをしています。長中期の債権については、必要に応じて債権者である京都府社会福祉協議会と連携し対応を行っております。

〔 課 題 〕

福祉的な相談支援として、貸付や償還相談の対応の中で、利用者の自立につながるよう、民生委員や京都府社会福祉協議会、その他の関係機関とさらに連携を強め、協働して対応していくことが必要です。事業について理解を進めるために、適切な事業周知を行うことが求められます。

(1) 生活福祉資金貸付事業説明会

開催日	内 容
令和元年11月5日	(1) 栗陵中学校 進路説明会
令和元年11月7日	(2) 2019年度 指定特定相談支援事業所等への研修 生活福祉資金貸付制度 事業説明
令和元年12月16日	(3) 新任民生児童委員研修会（醍醐）事業説明
令和2年1月16日	(4) 新任民生児童委員研修会（本所）事業説明
令和2年1月22日	(5) 新任民生児童委員研修会（深草）事業説明

(3) 生活福祉資金 相談・貸付の状況

資金種別		面 談	申 請	決 定	貸 付
		件数	件数	件数	決定金額
総合支援資金		20	6	4	1,539,591
臨時特例つなぎ資金		—	—	—	—
福祉 資金	福祉費	178	77	75	17,185,000
	緊急小口資金	66	23	13	1,104,000
	生活復興資金	—	—	—	—
教 育 支 援	教育支援費	384	195	172	72,770,000
	就学支度費	363	185	164	56,999,000
不動産担保型生活資金		—	—	—	—
その他		4	—	—	—
合 計		1,015	486	428	149,597,591

3) 住居確保給付金事業

〔 成 果 〕

広報誌・SNSに掲載されたことも影響し、相談件数が徐々に増加しています。特に20代や30代など比較的若い年齢層の相談が多いのが特徴です。

相談支援の中で、行政をはじめとして、生活困窮者自立支援制度の自立支援相談員や、ハローワーク等の他機関との連携を行うことにより、安定した生活・就職活動を行う為に必要な制度としての役割を担いました。

〔 課 題 〕

制度の適切な周知と、他機関とのネットワークをより強固なものとし、相談支援を行っていく必要があります。

(1) 住居支援給付 面談・申請の状況

	来所者（延べ）	新規申請者
	件数	件数
伏見（本所・深草）	163	12
醍醐	12	1
合 計	175	13

4) 地域あんしん支援員設置事業

〔 成 果 〕

年度末の統計では、支援中が12ケース、予備調査中2ケース、経過観察1ケースの計15ケースで、終結は6ケースとなっています。終結の内訳としては伏見本所4ケース、醍醐2ケースとなっており、地域あんしん支援員(以下支援員)が平成29年度より伏見本所・深草支所管内に配置され、寄り添い支援をしてきた支援成果が終結という結果に反映されています。加えて、平成26年度より支援員が配置された醍醐支所管内の終結ケースに関しては4年以上支援してきたケースが終結となっており、同じく寄り添い支援が実を結んでいます。

また、終結だけではなく、寄り添い支援や関係機関等との連携を通じて引きこもりの状態であった方が就労継続支援を利用されたり、受診拒否の方が受診をすることができたりと、支援成果が出ています。

〔 課 題 〕

寄り添い支援で効果が出ると同時に、支援員への依存が強くなり、支援員以外に相談ができない、受け入れられない状況に陥りやすくなります。そうなると、次のステップに進めず、支援ネットワークを広げることが難しくなります。このようなこ

とを防ぐためには支援対象者との適切な関係性を構築することが重要であり、引き続き支援会議等で密に議論する必要があると考えています。

事業周知に関しては、依然として不十分な状況が続いています。そのため、今後は計画的に事業周知等を進めていくために、「令和2年度地域あんしん支援員設置事業推進の重点」を作成しました。来年度はこれに基づいた事業周知を進め、事業理解の促進と地域ネットワークの拡充を図っていきます。

(1) ケースの件数

①新規選定および終結件数

	深草	伏見本所	醍醐	合計
新規選定	2	3	2	7
終結	0	4	2	6

②支援状況

	深草	伏見本所	醍醐	合計
年度当初	2	8 (経過観察1件含む)	4 (経過観察1件含む)	14
年度末	4	7 (経過観察1件、予備調査中2件含む)	4	15

(2) 各種会議への出席

①選定会議

保健福祉センターや区社協等から支援候補となるケースを挙げ、支援の必要性や優先度、寄り添い支援の有効性を考慮し、ケースを選定しました。

深草	令和元年7月31日(候補2ケースのうち、2ケース選定)
伏見本所	令和元年7月19日(候補6ケースのうち、1ケース選定) 令和2年2月5日(候補2ケースのうち、2ケース選定)
醍醐	令和元年10月25日(候補4ケースのうち、2ケース選定)

② 支援会議

支援ケースについて、解決すべき課題の確認、関係機関の役割分担の明確化、支援方針の決定を目的に、支援会議をおこないました。

深草	令和元年7月2日(支援方針の見直し1ケース) 令和元年7月31日(支援方針の見直し1ケース) 令和元年9月18日(支援方針の決定1ケース) 令和元年11月7日(支援方針の決定1ケース)
伏見本所	令和元年5月30日(支援方針の見直し2ケース) 令和元年7月19日(終結の検討1ケース) 令和元年9月10日(支援方針の見直し1ケース、終結の検討1ケース) 令和元年10月31日(支援方針の決定1ケース、見直し3ケース、終結の検討1ケース) 令和2年3月24日(支援方針の見直し1ケース)
醍醐	令和2年1月17日(支援方針の決定2ケース、終結の検討1ケース)

③定期支援会議

全ケースについて支援の進捗状況を確認し、支援が膠着しているケースについては、支援方針の見直し、終結、経過観察の判断をおこないました。

深草	令和元年11月7日、令和2年3月17日(支援ケースの進捗確認、支援方針の見直し、終結の検討)
伏見本所	令和2年3月24日(支援ケースの進捗確認、支援方針の見直し)
醍醐	令和元年10月25日、令和2年3月19日(支援ケースの進捗確認、支援方針の見直し、終結の検討)

(3) 支援ケースの概要

	対象者	世帯		課題	支援期間	終結の有無	
深草	50代女性		4人世帯	不衛生な生活環境 複合多問題	2年8ヶ月	継続	
			(子ども3人)				
	30代男性		2人世帯	引きこもり	2年2ヶ月	継続	
			(母)				
70代男性	单身		不衛生な生活環境 利用拒否	8ヶ月	継続		
40代男性		2人世帯	不衛生な生活環境 就労支援 引きこもり	8ヶ月	継続		
		(叔母)					
伏見本	30代女性		2人世帯	不衛生な生活環境 引きこもり	2年8ヶ月	継続	
			(母)				

				受診拒否			
	50代男性	单身		不衛生な生活環境	2年8ヶ月	経過観察	
	70代男性	单身		不衛生な生活環境 受診拒否	2年3ヶ月		終結
	30代女性		4人世帯	不衛生な生活環境	2年8ヶ月 (世帯間で 対象者変更)	継続	
			(両親、 弟)				
	20代女性		5人世帯	不衛生な生活環境 複合多問題	1年11ヶ月		終結
			(母、弟3 人)				
	40代男性		4人世帯	生活困窮 複合多問題	1年11ヶ月		終結
			(両親、 兄)				
	50代女性		3人世帯	不衛生な生活環境 引きこもり 受診拒否	1年9ヶ月	継続	
			(母、弟)				
	30代女性		2人世帯	生活困窮	1年1ヶ月		終結
			(父)				
	70代男性	单身		不衛生な生活環境 引きこもり	9ヶ月	継続	
	30代男性		2人世帯	予備調査中	2ヶ月	継続	
			(父)				
	50代男性		2人世帯	予備調査中	2ヶ月	継続	
			(母)				
醍醐	40代男性		3人世帯	生活困窮 就労支援	5年10ヶ月		終結
			(父、弟)				
	40代女性		2人世帯	引きこもり 不衛生な生活環境	5年7ヶ月	継続	
			(父)				
	50代男性	单身		引きこもり	4年4ヶ月		終結
10代女性		3人世帯	利用拒否、就労	1年8ヶ月	継続		
		(母、弟)					
70代女性	单身		不衛生な生活環境 受診拒否 生活困窮	6ヶ月	継続		

	10代男性		5人世帯 (母、姉、祖母、叔父)	不衛生な生活環境 複合多問題 引きこもり	6ヶ月	継続	
--	-------	--	---------------------	----------------------------	-----	----	--

3. ボランティア活動支援事業

〔 成 果 〕

伏見区ボランティアグループ連絡会と連携し、区民を対象としたボランティア展などを開催することができました。

また、福祉教育では、昨年度まで実施していた学校に加え、新たに要望のある学校にも赴いて、福祉教育を実施することができました。

〔 課 題 〕

学区社会福祉協議会やボランティアグループ等とともに、地域共生社会に向けたボランティア活動の促進を地域で取り組んでいく必要があります。

学校のカリキュラムから福祉教育が削られていく中で、福祉教育の実施回数だけでなく、内容もより社会のニーズに即した発展的なものになるよう検討する必要があります。

(1) ボランティアに関する相談・コーディネート等

実施体制	兼任職員3名体制で実施
開設日	窓口・電話相談：月～金（9時00分～17時00分） ※FAX・Eメールによる対応あり
年間件数	70件
内 容	「ボランティアしたい・してほしい」、講座情報、助成金、寄付関連、福祉の保険等。内容に応じて、施設・団体・ボランティアグループへの情報提供・調整等を実施。

(2) ボランティア活動の振興・援助

①会議室の貸出

貸出件数	310件	延べ利用人数	2,747人
------	------	--------	--------

②備品の貸出

貸出件数	313件（印刷機器 157件 その他機材 156件）
貸出物品	車イス、プロジェクター、スクリーン、コンパクトスピーカー、パソコン、印刷機、丁合機、紙折機

(3) ボランティア保険の取扱いと加入促進

ボランティア 保険	218団体・2,192名	行事保険	14,336名
--------------	--------------	------	---------

(4) 伏見区災害ボランティアセンターに関する基盤整備

①伏見区総合防災訓練への参加

開催日	内 容
令和元年12月15日	【場所】醍醐小学校、醍醐寺 【内容】災害ボランティアセンター設置運営訓練

②京都市総合防災訓練への参加

開催日	内 容
令和元年8月31日	【場所】岡崎運動公園 【内容】災害ボランティアセンター設置運営訓練

(5) 地域における福祉教育・ボランティア学習推進事業の実施

〔 成 果 〕

ユースアクションは、参加者が前年度より更に増え、今年度は17名増の27名となりました。また、施設体験を受け入れてくださる各種関係機関の皆様のおかげで、参加者が多種多様な福祉体験の中から、体験したい福祉体験を選択し、福祉やボランティア活動への関心や理解を深めることができました。

〔 課 題 〕

引き続き多くの児童に参加してもらえるよう、各教育機関、中学生・高校生への事業周知を努めます。福祉体験を通じて、福祉やボランティア活動に関心と理解を深め、地域社会を構成する一員として社会参加していけるよう、事前・事後研修も含めた内容の充実を図る必要があります。

①青少年の福祉体験事業「ユースアクション2019」の実施

開催日	内 容
令和元年7月22日	事前研修 オリエンテーション
令和元年7月23日 ～8月8日	施設体験事業 連続した3日間で施設体験 (27名参加) 【体験先施設名】特養、老人デイ、授産所、保育所、児童館、健康すこやか学級など
令和元年8月9日	事後研修 体験事業の振り返り

【体験受入施設・団体】

障	京都フレンドリーハウス	特定非営利活動法人 四つ葉
---	-------------	---------------

	伏見障害者授産所	京都市伏見障害者デイサービスセンター
	京都市ふしみ学園	伏見工房 P & P
	障害者支援施設 輝	
	就労継続支援事業所 キャッチアップ	
高齢者施設	特別養護老人ホームヴィラ稲荷山	京都市醍醐老人デイサービスセンター
	特別養護老人ホームそせい苑	養護老人ホーム京都老人ホーム
	久我の杜デイサービスセンター	特別養護老人ホーム みやびのその
	同和園デイサービスセンター	藤森センター ほっこり
	みやびのそのデイサービスセンター	京都市醍醐老人福祉センター
	春日丘センター	特別養護老人ホームヴィラ向島
	ヴィラ向島デイサービスセンター	伏見老人福祉センター
子ども福祉施設	下鳥羽保育園	世光保育園
	社会福祉法人 向島保育園	あけぼのこども園
	みどり保育園	うづらこども園
	桃陵乳児保育園・桃陵保育園	石田保育園
	くりのみ保育園	はなぶさ保育園
	第二あけぼの保育園	京都市 改進黨保育所
	第二うづらこども園	納所城之内児童館
	城南第二保育園	京都市春日野児童館
	端山の丘こども園	京都市住吉児童館
	城南保育園	京都市深草児童館
	みぎわ保育園	城南児童館
地域	伏見区社会福祉協議会	

②「福祉教育」「ボランティア体験学習」の実施

開催日	内 容
令和元年6月6日	東稜高等学校「車イス体験」 【対象】東稜高等学校 高校3年生（36名）
令和元年7月11日	神川小学校「車イス体験授業」 【対象】神川小学校4年生（116名）
令和元年10月3日	住吉小学校「車イス体験授業」 【対象】住吉小学校4年生（55名）
令和元年11月6日	住吉小学校「セラピードッグ」 【対象】住吉小学校4年生（55名） 【参加団体】アンビシャス伏見

令和元年9月11日	聖母女学院中学・高等学校「災害ボランティア講座」 【対象】聖母女学院中学・高等学校 高校2年生（25名）
令和元年10月23日	聖母女学院中学・高等学校「要約筆記講座」 【対象】聖母女学院中学・高等学校 高校2年生（25名）
令和2年1月5日	聖母女学院中学・高等学校「セラピードッグ」 【対象】聖母女学院中学・高等学校 高校2年生（25名）
令和元年10月30日	納所小学校「車イス体験」 【対象】納所小学校4年生（45名）
令和元年11月26日	南浜小学校「視覚障害当事者」 【対象】南浜小学校4年生（86名）
令和2年1月17日	南浜小学校「手話」 【対象】南浜小学校4年生（86名）
令和2年1月22日	南浜小学校「車イス体験」 【対象】南浜小学校4年生（86名）
令和2年1月31日	京都教育大学附属高校「福祉教育」 【対象】京都教育大学附属高校1年生（28名） 【協力】京都YMCA こおろぎ、手話サークルともだち、 要約筆記サークルかたつむり、NPO法人 ユニ、 アンビシャス伏見、ねこの手、やぎ接骨院
令和2年2月7日	京都教育大学附属高校「福祉教育」 【対象】京都教育大学附属高校1年生（28名） 【協力】京都YMCA こおろぎ、手話サークルともだち、 要約筆記サークルかたつむり、NPO法人 ユニ、 アンビシャス伏見、ねこの手、やぎ接骨院
令和2年2月27日	洛水高等学校「災害ボランティア講座」 【対象】洛水高等学校 高校1年生（200名）

(6) ボランティア活動に関する講座等の充実

①ボランティア講座

開催日	内 容
令和元年9月4日	聖母女学院中学・高等学校「認知症サポーター養成講座」 【対象】聖母女学院中学・高等学校 高校2年生（25名） 【協力】深草中部地域包括支援センター、深草学区社会福祉協 議会

(7) 伏見区ボランティアグループ連絡会との連携・協働

①運営連絡会の開催

開催日	内 容
平成31年4月11日 第1回	(1) 平成30年度 事業報告及び決算について (2) 新年度事業計画について
令和元年5月9日 第2回	(1) 令和元年度予算について (2) 納涼祭について (3) 福祉教育について（聖母女学院高校）
令和元年6月18日 第3回	(1) 納涼祭について (2) 秋のレクリエーションについて (3) ふれあいプラザについて (4) 区ボランティアセンターについて
令和元年8月20日 第4回	(1) 納涼祭について (2) ふれあいプラザへの参加について (3) 秋のレクリエーションについて (4) 会計について
令和元年9月17日 第5回	(1) ふれあいプラザについて (2) 秋のレクリエーションについて (3) くれたけまつりについて (4) 福祉ボランティア活動展について
令和元年10月15日 第6回	(1) 深草ふれあいプラザについて (2) くれたけまつりについて (3) 福祉ボランティア活動展について (4) 秋の研修について (5) 聖母女学院における福祉教育について (6) 京都教育大学付属高校における福祉教育について
令和元年11月19日 第7回	(1) くれたけまつりについて (2) 新年会について (3) 秋の一日研修について (4) 深草ふれあいプラザの振り返りについて (5) 「福祉ボランティア活動展」並びに「深草こころのカフェ」への参加について
令和元年12月15日 第8回	伏見区防災訓練及び災害ボランティアセンター設置運営訓練への参加
令和2年1月21日 第9回	(1) 秋の一日研修について（報告） (2) 次年度の取り組みについて (3) 新年交流研修会について

令和2年2月18日	第10回 (1) 新年研修交流会について（報告） (2) 来年度の事業予定について（報告） (3) ボランティアグループ連絡会の規約について
-----------	---

※その他、広報・イベント部会、研修部会を必要に応じて随時開催

②ふれあいプラザ、センターまつり等の参加

開催日	内 容
令和元年9月1日	伏見ふれあいプラザ 2019 於：パルスプラザ 模擬店（草もち等販売） ボランティア活動 PR（チラシ）
令和元年9月15日	醍醐ふれあいプラザ 2019 於：折戸公園 模擬店（チュロス・クレープ販売） ボランティア活動 PR
令和元年10月13日	福祉ボランティア・社協フェスタ 於：ひと・まち交流館 ボランティア活動 PR
令和元年10月20日	深草ふれあいプラザ 於：藤森神社境内、藤の森公園 模擬店（草もち等販売） ボランティア活動 PR（チラシ）

③懇談会、研修・交流事業

開催日	内 容
令和元年 7月26日	第13回 納涼祭
令和元年10月13日	ボランティアフェスタ協力
令和元年11月29日	日帰り研修
令和 2年 1月31日	新年交流会
令和 2年 2月 8日	くれたけまつり参画

④伏見区ボランティアセンター情報誌「伏見のわ」への掲載

発行月	内 容
令和元年5月	第36号 ボランティアグループ連絡会活動報告 【1000部発行】
令和元年8月	第37号 ボランティアグループ連絡会活動報告 【1000部発行】

⑤関係団体、機関会合への参加

伏見区社会福祉協議会理事会・評議員会等【再掲】

4. 健康すこやか学級事業

〔 成 果 〕

引き続き全ての学区社会福祉協議会で健康すこやか学級を実施していただくことができました。また、9日間の開催日を設け、延べ146名の参加をしていただきながら、本所及び深草管内、醍醐分室管内と開催場所を分けながら健康すこやか学級活動交流会を開催することができました。その交流会において各学区社会福祉協議会の実践や成果及び日頃の悩みや問題意識、やりがいや楽しさ等、情報交換・共有を行うことができました。

〔 課 題 〕

制度変更による報告書の詳細化や添付資料の増加等、学区社会福祉協議会の負担増が引き続き課題として上がっています。また、担い手不足の課題や活動の充実に向けての取り組みも側面的な支援が必要です。具体的には、健康すこやか学級活動交流会等の中で各学区社会福祉協議会から共有していただいた活動実践の情報を活かし、各学区の取り組みへ繋げていけるよう努めていきます。

(1) 健康すこやか学級事業の実施回数

実施学区社会福祉協議会		令和元年度	平成 30 年度
深草	稲荷学区社会福祉協議会	20	21
	砂川学区社会福祉協議会	20	22
	深草学区社会福祉協議会	45	45
	藤森学区社会福祉協議会	60	63
	藤城学区社会福祉協議会	52	51
伏見	住吉学区社会福祉協議会	41	43
	板橋学区社会福祉協議会	43	46
	南浜学区社会福祉協議会	38	39
	桃山学区社会福祉協議会	44	46
	桃山東学区社会福祉協議会	20	22
	桃山南学区社会福祉協議会	32	36
	下鳥羽社会福祉協議会	42	44
	横大路学区社会福祉協議会	28	28
	納所社会福祉協議会	15	16
	向島学区社会福祉協議会	14	18
	向島南学区社会福祉協議会	16	17
	二の丸北学区社会福祉協議会	11	12

実施学区社会福祉協議会		令和元年度	平成 30 年度
	二ノ丸学区社会福祉協議会	12	10
	藤ノ木学区社会福祉協議会	10	11
	久我地区社会福祉協議会	46	66
	羽束師地区社会福祉協議会	18	19
	淀学区社会福祉協議会	34	40
	淀南学区社会福祉協議会	60	60
醍醐	北醍醐学区社会福祉協議会	49	50
	醍醐西学区社会福祉協議会	29	29
	醍醐学区社会福祉協議会	43	30
	池田学区社会福祉協議会	29	33
	池田東学区社会福祉協議会	25	29
	小栗栖学区社会福祉協議会	10	11
	小栗栖宮山学区社会福祉協議会	22	24
	日野学区社会福祉協議会	57	68
	春日野学区社会福祉協議会	22	24
合計		1,007	1,073

(2) 健康すこやか学級活動交流会の開催

開催日	場所	内 容
令和元年 7月3日(AM)	伏見社会福祉総合センター	レクリエーション講習会
令和元年 7月3日(PM)	伏見社会福祉総合センター	レクリエーション講習会
令和元年 7月 4日	醍醐支所 講堂	レクリエーション講習会
令和元年10月25日	伏見社会福祉総合センター	クラフト講習会
令和元年10月28日	伏見社会福祉総合センター	クラフト講習会
令和元年10月31日	醍醐支所 講堂	クラフト講習会
令和2年 2月18日	伏見社会福祉総合センター	情報交換会
令和2年 2月21日	醍醐支所 講堂	情報交換会
令和2年 2月26日	伏見社会福祉総合センター	情報交換会

5. 地域支援事業

〔 成 果 〕

京都市社会福祉協議会が推進する「地域の絆づくり事業」(相談・居場所・見守り)により一層力を注ぐことにより、学区社会福祉協議会の組織と活動の拡充に努めました。身近な地域における見守り活動や居場所づくり活動等、地域特性や実状を踏まえながら福祉活動が継続的に行われています。

〔 課 題 〕

学区ごとの地域懇談会などを積極的に開催し、学区社会福祉協議会の新たな取り組みや懇談会でお聞きした困りごとなどを側面的に支援していくことが必要です。

(1) 学区社会福祉協議会会長会議の開催

開催日	内 容
令和2年2月25日	1) 地域福祉活動計画について 2) 地域支え合い活動創出コーディネーターの活動について 3) 地域あんしん支援員の活動について 4) 日常生活自立支援事業の活動について 5) 健康すこやか学級の実務について 6) 賛助会費の募集活動について

(2) 地域福祉リーダー養成研修会の開催

地域福祉・ボランティア活動カレッジの共催

開催日	内 容
令和2年2月28日	・ 基調講演 「多様化・複合化する地域の中で福祉的な自治をつくる」 ・ パネルディスカッション 北区 紫竹社会福祉協議会 下京区 七条学区社会福祉協議会 右京区 安井社会福祉協議会 <会 場> ひと・まち交流館 京都

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止

(3) 福祉のまちづくり事業の推進

事業項目		実施学区	
学びあう活動	研修活動	研修活動	25
		ボランティア講座の開催	15
	広報啓発活動	広報紙の発行	30
		福祉まつりなどの啓発活動	21
		福祉の相談会の開催	9
	実態調査活動	まちづくり点検活動	8
		暮らしの実態調査	11
		福祉台帳の整備	19
	ふれあう活動	交流活動	地域行事への参加促進
世代間等の交流活動			23
福祉施設との交流			18
仲間づくり活動		茶話会・会食会活動	19
		当事者グループづくり	7
		当事者への支援活動	8
		地域子育て支援活動	22
支えあう活動	学区ボランティアセンター活動	外出サービス活動	4
		家事援助サービス活動	4
	地域福祉ネットワーク活動	訪問ネットワーク活動	19
		福祉施設との連絡会	22
		関係機関・施設連絡協議会	20
	在宅福祉サービス活動	寝具クリーニングサービス	22
		配食サービス	10
		健康すこやか学級	32
		居場所づくり	21

(4) 学区社会福祉協議会への助成

① 基本助成	2,236,000 円	② 活動助成	17,168,936 円
③ 賛助会費配分	8,133,830 円	合計	27,538,766 円

(5) 未設立学区への支援活動

学区	内容
竹田	地域ケア会議に参画し、顔の見える関係の構築を図っている。
久我の杜	「健康・福祉まつり」にて、顔の見える関係の構築を図った。

石 田	民生児童委員協議会との協働を綿密に図っている。
-----	-------------------------

6. 生活支援事業

1) 生活支援事業

〔 成 果 〕

様々な理由で生活に困窮されている方や地域で孤立されている方に対して、各関係機関や福祉事業者、地域団体とのネットワークを活用し支援をおこないました。また、介護保険制度の改正による「新しい総合事業」に対応するため、生活支援の取組みについて京都市社協とともに検討を進めました。

〔 課 題 〕

今後、生活支援を必要としている方のニーズに対応していくためにも、より強固なネットワークを構築するとともに、区社協としても解決に取り組むため、新しい仕組みづくりが必要となっています。引き続き、介護保険制度の動向に注視しながら、高齢者への助け合い活動の効果的な実施を目指します。

(1) チャレンジ就労体験事業の推進<市社協連携>

種別	受け入れ施設
障 害	福祉工房 P&P 愛隣デイサービスセンター 京都市ふしみ学園 京都市だいが学園 京都フレンドリーハウス醍醐作業所 モーツァルト七瀬川つつみ 京都市伏見障害者授産所 就労継続支援事業所 キャッチアップ
高 齢	伏見老人デイサービスセンター 醍醐老人デイサービスセンター 伏見老人福祉センター 醍醐老人福祉センター デイサービスセンターみやびのその 特別養護老人ホーム フジの園 特別養護老人ホーム みやびのその 特別養護老人ホーム 同和園 ケアハウス プラスしこうえん 高齢者福祉施設 久我の杜
児 童	春日野児童館 藤森竹田児童館 醍醐中央児童館 辰巳児童館

その他	京都生活協同組合 京都生活協同組合 コープ桃山店 京都生活協同組合 コープ醍醐石田店 醍醐中央図書館
-----	---

	深草	本所	醍醐
利用者数	3	11	4

(2) 企業との連携による見守り活動<市社協連携>

対応日	内容
令和元年7月3日	京都生協と締結した“高齢者等の見守り活動に関する協定書”において「在宅にもかかわらず配達した弁当が2週間ほど放置されている」と連絡が入り学区社会福祉協議会と学区民生児童委員協議会、地域包括支援センターと連携し、親族に協力を得たうえで訪問した。本人は在宅で栄養状態が十分でない様子であったが、本人の強い意向で救急搬送はできなかったが、親族に訪問してもらうことが約束していただけた。
令和元年10月1日	京都生協と締結した“高齢者等の見守り活動に関する協定書”において「個配利用している方より『助けてほしい』とたびたび電話がある」と連絡が入る。地域包括支援センターと連携し、訪問した。本人は衰弱している様子であった。定期的に通っている息子と会うことができ、介護保険制度の利用を促すことができ申請につながった。
令和元年10月3日	京都生協と締結した“高齢者等の見守り活動に関する協定書”において「部屋の明かりがついている状態にもかかわらず前日に配達した弁当がそのままになっている。声をかけても反応がない」と連絡が入り、学区社会福祉協議会と学区民生児童委員協議会、地域包括支援センターと連携し、訪問を行った。その結果、該当者が『弁当の配達前に病院に入院した』ことを確認できた。

(3) 認知症の方の居場所づくり「オレンジカフェ伏見」の開催

	開催日	参加人数 (当事者と その家族)	ボランティ ア人数	概要
第1回	7月23日	7	7	日程：毎月第4火曜日 時間：13:30～15:30
第2回	8月28日	7	6	

第3回	9月24日	5	8	内容：喫茶、歓談、体操、 レクリエーション等 費用：100円 対象：認知症の人と そのご家族 協力：認知症の人と家族 の会伏見支部およ びボランティア
第4回	11月26日	5	8	
第5回	12月24日	11	6	
第6回	1月28日	10	5	
第7回	2月25日	14	5	

(4) 伏見地域支え合い活動創出コーディネーターと連携した「京都市地域支え合い活動創出事業（京都市事業）」の推進

①生活支援サービス創出の企画・支援

地域支え合い活動調整会議（連絡会議）の運営	
説明	地域住民、関係機関、福祉事業所、専門職集団、医療機関、区役所担当部局の代表にご参加いただき、地域支え合い活動創出コーディネーターの事業を説明・報告する会議です。ここで出された意見を参考に、事業の運営、生活課題の選定を行います。
深草	第1回：令和元年6月20日（木） 第2回：令和2年3月19日（木） *コロナウイルス拡大防止のため中止
本所	第1回：令和元年6月13日（木） 第2回：令和2年3月12日（木） *コロナウイルス拡大防止のため中止
醍醐	第1回：令和元年6月18日（火） 第2回：令和2年3月3日（火） *コロナウイルス拡大防止のため中止

②地域支え合い活動調整会議（実務者会議）の運営

説明	連絡会議や地域ケア会議等が出た意見を基に、区・支所ごとに「生活課題」を選定し、具体的な解決に取り組みます。
深草	課題：地域に高齢者の買い物ができる場所がない。 取組①：通所介護施設が所有している送迎車を活用し、スーパーまでの移動支援を検討した。送迎時のシミュレーションを行い、課題や改善点などを確認した。買い物の楽しみを通じてフレイル予防に取り組む。（地域住民・支所担当部局・深草北部包括・ヴィラ稲荷山との連携） 取組②：高齢者の集える場所の情報や高齢者の見守りや生活に役

	立つ情報をまとめた冊子を作成した。(深草北部包括支援センターとの連携)
本所	<p>課題①：居場所等のインフォーマルサービスの活用を促進したいが、現場で活躍する介護支援専門員等の専門職に情報が行きわたっていない。</p> <p>課題②：障がいを抱える高齢者の集える場所が少ないことや、ちょっとした困り事をお手伝いする自助団体を立ち上げる必要がある。</p> <p>取組①：適切な情報を届けるために平成30年度の取り組んだデータベースづくりを基にした居場所マップを作成。(本所担当部局・本所包括の看護師・保健師部会との連携)</p> <p>取組②：介護保険法や障害者総合支援法等の制度外サービスを提供するために任意団体の立ち上げ支援を実施。</p>
醍醐	<p>課題①：介護予防につながる取り組みの一覧を作成する。</p> <p>課題②：地域における公益的な取り組みの一巻で施設の一部を開放しているが、有効に活用されていない。</p> <p>取組①：健康すこやか学級や公園体操、認知症カフェ等の介護に備える取り組みの冊子作製を検討した(支所担当部局・醍醐北部南部包括との連携)</p> <p>取組②：関係機関とマルシェを開催。100名程の集客があり、地域住民に場所の活用につながるが見込まれる。(学区社会福祉協議会、民生児童委員協議会、自治連、醍醐北部包括、同和園等との連携)</p>

③生活支援の担い手養成

各区共通 地域支え合い活動入門講座	
深草	<p>第1回：令和元年11月28日(金)</p> <p>第2回：令和2年3月9日(月)*コロナウイルス拡大防止のため中止</p>
本所	<p>第1回：令和元年9月26日(木)</p> <p>第2回：令和2年2月13日(木)</p> <p>第3回：令和2年2月15日(土)</p> <p>第4回：令和2年3月12日(木)*コロナウイルス拡大防止のため延期</p> <p>第5回：令和2年3月19日(木)*コロナウイルス拡大防止のため延期</p>
醍醐	<p>第1回：令和元年9月3日(火)</p> <p>第2回：令和元年11月27日(水)</p> <p>第3回：令和2年3月9日(月)</p>

区独自 地域支え合い活動入門講座「フォローアップ研修」
第1回：令和元年6月15日（土）「私たちができる、したい活動」
第2回：令和元年8月17日（土）「高齢者に必要な栄養」
第3回：令和元年10月19日（土）「食事を通しての体づくりを考える」
第4回：令和2年12月21日（土）「地域の社会資源の把握と支援の創出」
第5回：令和2年2月15日（土）「ご高齢の方への支援はいろいろ」

④関係者のネットワーク化

1) 情報交換会の開催

伏見区地域支え合い活動の推進に関する高齢分野の情報交換会の開催
第1回 日時 令和元年11月27日（火） 10:00～12:00 場所 伏見社会福祉総合センター 2階 会議室 内容 地域における公益取組についての情報交換 <参加団体> 社会福祉法人 同和園、社会福祉法人京都老人福祉協会、醍醐南部地域包括支援センター、深草北部地域生活支援センター、特別養護老人ホーム 宝生苑

区独自 地域支え合い活動創出事業 高齢分野を含む多分野との情報交換会
第1回 日時 平成31年4月17日（木） 18:00～19:45 場所 ふかふか家 参加者 生きいき生活応援センターうふふ、森のようちえんわか、藤森スペースローカヤ、深草商店街代表理事、砂川学区社協、ふかふか子育てコミュニティベース等、深草中部包括
第2回 日時 令和元年5月15日（木） 15:00～16:10 場所 伏見区役所 深草支所 第2会議室 参加者 生きいき生活応援センターうふふ、栄養ケアステーション、森のようちえんわか、藤森スペースローカヤ、深草商店街代表理事、オレンジコモンズ、アイビー化粧品、やすらぎの会、京都ふれあい工房、深草中部包括、まちづくりアドバイザー等
第3回 日時 令和元年6月19日（木） 15:00～16:30 場所 伏見区役所 深草支所 第2会議室 参加者 生きいき生活応援センターうふふ、森のようちえんわか、鴨川運河会

議、京都ふれあい工房、アイビー化粧品、ふかふか家、深草中部包括、まちづくりアドバイザー等
<p>第4回</p> <p>日 時 令和元年7月17日(水) 15:00~17:00</p> <p>場 所 伏見区役所 深草支所 第2会議室</p> <p>参加者 生きいき生活応援センターうふふ、鴨川運河会議、アイビー化粧品、京都子育てネットワーク、オレンジコモンズ、児童サポートセンター青い鳥、平安徳義会乳児院、深草中部包括、まちづくりアドバイザー等</p>
<p>第5回</p> <p>日 時 令和元年8月21日(木) 18:30~20:00</p> <p>場 所 伏見区役所 深草支所 第2会議室</p> <p>参加者 生きいき生活応援センター、鴨川運河会議、京都子育てネットワーク、森のようちえん、深草商店街、深草中部包括、まちづくりアドバイザー等</p>
<p>第6回</p> <p>日 時 令和元年9月18日(水) 15:00~16:40</p> <p>場 所 ふかふか家</p> <p>参加者 生きいき生活応援センターうふふ、深草・竹やすらぎの会、京都ふれあい工房、森のようちえん、京都子育てネットワーク、アイビー化粧品、深草中部包括等</p>
<p>第7回</p> <p>日 時 令和元年10月16日(水) 15:00~16:30</p> <p>場 所 ふかふか家</p> <p>参加者 生きいき生活応援センターうふふ、深草こころの健康推進実行委員会、藤森スペースローカヤ、アイビー化粧品、鴨川運河会議、深草中部包括、まちづくりアドバイザー等</p>
<p>第8回</p> <p>日 時 令和元年11月20日(水) 15:10~16:20</p> <p>場 所 ふかふか家</p> <p>参加者 生きいき生活応援センターうふふ、鴨川運河会議、深草商店街理事、京都ふれあい工房、京都子育てネットワーク、深草中部包括等</p>
<p>第9回</p> <p>日 時 令和元年12月18日(水) 15:00~16:10</p> <p>場 所 ふかふか家</p> <p>参加者 生きいき生活応援センターうふふ、竹やすらぎの会、深草商店街代表理事、京都子育てネットワーク、アイビー化粧品、京都ふれあい工房、鴨川運河会議等、深草中部包括等</p>
第10回

日 時	令和 2 年 1 月 22 日 (水) 15:00~16:10
場 所	ふかふか家
参加者	生きいき生活応援センターうふふ、竹やすらぎの会、京都ふれあい工房、鴨川運河会議、京都子育てネットワーク、アイビー化粧品、深草中部包括等
第 11 回	
日 時	令和 2 年 2 月 19 日 (水) 15:00~16:30
場 所	ふかふか家
参加者	生きいき生活応援センターうふふ、アイビー化粧品、京都子育てネットワーク、京都ふれあい工房、竹やすらぎの会、鴨川運河会議、深草中部包括
第 12 回	
日 時	令和 2 年 3 月 25 日 (水) 15:00~16:30
	*コロナウイルス拡大防止のため延期

⑤地域のニーズと資源の見える化

- 1) 地域アセスメント基礎情報シートの更新
- 2) 学区社会福祉協議会との懇談会に参加

⑥その他の取り組み

- 1) 支えたい人と支えられたい人が集い支え合う「支え合いカフェ」を毎月開催
- 2) 深草 100 円商店街においてシールを貼るアンケートボードを使用して生活支援サービスの創出につなげるためのアンケート調査の実施
- 3) 地域の居場所やサロンでの研修の開催や情報提供
- 4) 中学校跡地を活用して誰もが集える交流スペースを開設
- 5) 京都生協との情報交換会を開催 (2 回)

2) 地域福祉ネットワーク事業

〔 成 果 〕

伏見区地域福祉推進委員会を軸として、「地域支え合い活動創出コーディネーター」等と連携し、地域福祉の推進に関する幅広い活動を行いました。また、福祉分野別のネットワークをはじめ、保健、医療、教育等の幅広い分野の連絡会議等に参加し、様々な課題の解決に向けた取り組みを推進しました。また、「地域あんしん支援員」と協力し、制度の狭間にある方や支援を拒否する方など、既存の制度の枠組みでは対応の困難な個別ケースの支援にも継続して取り組みました。

〔 課 題 〕

複合的な福祉課題や制度の狭間にある生活課題に対応するために、インフォーマルなサービスを含めた多様な機関や団体の取り組みを把握し、連携を進める必要があります。その為に、伏見区地域福祉推進委員会等の取り組みを通じて、互いに協働

できるきめ細かなネットワークを構築することが必要です。

(1) 伏見区地域福祉推進委員会

① 委員会の開催

第1回 伏見区地域福祉推進委員会	
開催日	令和元年5月28日(火) 午前11時30分から
内容	(1) 平成30年度決算報告について (2) 「京(みやこ)地域福祉推進指針」について (3) 伏見区地域福祉推進委員会の委員選任について
会場	伏見区役所 4階 大会議室

② 地域福祉推進シンポジウム・講演会の開催

開催日	令和元年11月8日(金)
テーマ	地域懇話会 深草こころのカフェ「こころの病って?いろいろな人の話を聞いてみよう」
内容	(1) クイズで知るこころの病 (2) こころの病のある方やそのご家族の声、関係機関の声紹介
会場	深草総合庁舎 4階 会議室
参加者	社協・民協・保健協などの役員、関係機関、当事者など131人

開催日	令和2年1月25日(土)
テーマ	「福祉のまち醍醐・交流大会」
内容等	・啓発映画上映会 テーマ「命に寄り添い、『いのち』をつなぐ」 作品タイトル「いのちがいちばん輝く日ーあるホスピス病棟の40日ー」 ・サークル発表会 ・ふれあい作品展 ・子育て支援コーナー ・高齢者相談・健康づくりコーナー
会場	京都市醍醐交流会館
参加者	住民、地域組織の役員、関係機関など246人(イベント全体延べ2300人)

開催日	令和2年1月29日(水)
テーマ	伏見区の社協・民協合同研修会

内容等	(1) 講演：障害のある子どもたちと暮らす親の思い (2) 班に分かれての情報・意見交換
会 場	京都市立呉竹総合支援学校
参加者	学区社協役員、民生児童委員、呉竹総合支援学校 PTA、地域生活支援センター 他 60 人

③伏見・深草・醍醐「ふれあいプラザ」への参加

開催日	内 容
令和元年9月1日	伏見ふれあいプラザ 2019 於：パルスプラザ 模擬店（草もち等販売） ボランティア活動 PR（チラシ）
令和元年9月15日	醍醐ふれあいプラザ 於：折戸公園 伏見区民生児童委員協議会との共催でブースに出店 ボランティア活動 PR
令和元年10月20日	深草ふれあいプラザ 於：藤森神社境内、藤の森公園 模擬店（草もち等販売） ボランティア活動 PR（チラシ）

(2) 地域福祉ネットワークの推進

①関係団体・施設の連絡会議等への参加・連携

- 1) 伏見・深草・醍醐地域包括支援センター運営協議会および運営会議への参画
- 2) 地域包括支援センターとの連携および地域ケア会議への参加
- 3) 伏見地域、深草・醍醐地域介護予防推進センターとの連携強化
- 4) 伏見・深草子どもネットワークおよび醍醐子育て支援ネットワークへの参加
- 5) 伏見保健所運営協議会への参画
- 6) 伏見区こころの健康ふれあいネットワークへの参画
- 7) 障がい者地域生活支援ネットワーク事務局の共同運営
- 8) 伏見区内の各種会議、協議会への参加

②京都市南部・東部障害者地域自立支援協議会への参画

- 1) 運営会議・全体会議への参加
- 2) 地域懇談会の開催（伏見区地域福祉推進委員会伏見ブロック部会共催）
- 3) 災害対策部会の開催
- 4) 事務局会議等の開催

(3) 地域福祉ネットワークへの助成

①伏見区民ふれあい事業（ふれあいプラザ）

助成額 300,000 円

7. 共同募金配分金事業

〔 成 果 〕

共同募金配分委員会において、関係団体やボランティアグループへの助成金の使途や事業の効果等を検証し、配分金を活用した事業の透明性をより一層高めることができました。

〔 課 題 〕

赤い羽根共同募金の意義を伝え、募金額の減少に歯止めをかける為に、引き続き共同募金配分金を財源とする事業であることを明記する等、広報を充実することが必要です。

(1) 学区社会福祉協議会への助成

①広報・啓発活動	827,253 円
②交流活動・仲間づくり活動	2,151,485 円
③寝具クリーニングサービス	1,100,000 円

(2) 地域福祉・ボランティア活動助成事業 995,000 円

山科少年補導委員会（醍醐地区）	伏見区交通安全推進委員会連合会	伏見区老人クラブ連合会
伏見区身体障害者団体連合会	伏見区母子寡婦福祉会	京都手をつなぐ育成会伏見支部
伏見区遺族連合会	伏見少年補導委員会	伏見地区保護司会
伏見保育士会	醍醐保育士会	伏見区体育振興会連合会
伏見区地域女性連合会	伏見更生保護女性会	
花水木の会	ねこの手	ぶどうの会
醍醐朗読ボランティアの会 ひびき	手話サークル ともだち	京都 YMCA こおろぎ
音訳グループ ひよこ	要約筆記サークル かたつむり	

令和2年6月8日

社会福祉法人 京都市伏見区社会福祉協議会

〒612-8318

京都市伏見区紙子屋町544番地

京都市伏見区社会福祉総合センター2F

TEL 075 (603) 1287

075 (604) 6541 [相談専用]

FAX 075 (603) 4532

醍醐分室

〒601-1375

京都市伏見区醍醐高畑町30-1

京都市醍醐区老人福祉センター内

TEL 075 (575) 2070

FAX 075 (573) 8314